

平成 29 年 2 月 13 日
Feb. 13th, 2017

大学院学生各位
To All Graduate Students

平成 28 年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture (TOKURON) 2016

題目：新規分子 CAMP によるゲノム安定性維持機構
Title: Maintenance of genome stability by a novel molecule, CAMP

講師：田中 耕三 先生

東北大学 加齢医学研究所 分子腫瘍学研究分野 教授

Teaching Staff: Dr. Kozo Tanaka

Department of Molecular Oncology, Institute of Development, Aging and
Cancer (IDAC), Tohoku University

日時：平成 29 年 2 月 14 日（火）16:00～17:30
Time & Date : 16:00～17:30, February 14th (Tue), 2017

場所：環境医学研究所北館セミナー室(N-201)
Room: N-201 (Seminar Room), North Building, Research Institute of Environmental Medicine
(Higashiyama Campus)

言語：日本語
Language: Japanese

{特論の概要}

CAMP(Chromosome alignment-maintaining phosphoprotein)は、細胞周期関連分子 Mad2L2 の結合タンパク質として我々が命名した分子であり、染色体分配制御に関与することが明らかになっている。CAMP は中央部に巨大な天然変性領域をもつ Zn フィンガータンパク質であり、HP1 と共に H3K9me3 に結合する分子として同定されている。本特論では、我々の研究から明らかになってきた CAMP の様々な機能について紹介する。

関係講座・部門等の連絡担当者：分子機能薬学（環境医学研究所 ゲノム動態制御分野） 益谷 央豪（内線 3871）
（鶴舞・大幸地区からは、85-3871）

Contact: Dept. of Genome Dynamics, Research Institute of Environmental Medicine.
Phone: ext. 3871 (or 85-3871 from Tsurumai & Daiko campuses)

[注意] 事前の申込みは不要です。
Notice: No registration required.

医学部学務課大学院掛
Student Affairs Division, School of Medicine